

令和3年度の学校評価をもとに、課題の改善に向けた具体的な取り組み等について

1 学校経営

本校の教育目標実現のため、全職員がベクトルを合わせて同じ方向を向いて教育活動をする必要性を機会あるごとに伝え、不十分な場合には、その都度確認する。

2 学習指導

それぞれの授業ごとに、学ぶ目的を明らかにする。生徒自らが学ぶ喜びを感じ、家庭においても学習をしたいと思える授業改善をする。R80で振り返り、文章を書く力を身につけると共に、自分以外の人に話すことによって能動的学習者の育成を目指す。

3 生徒指導

規範意識を高めるための取り組みをする。社会に貢献する一人の人間としてどうあるべきかを常に考えさせる機会をもつ。

4 進路指導

各々の進路実現のため、早い段階から将来設計を立て、実現するために今何をしなければならないのか、手帳を用いて自律した学習者の育成を目指す。

5 特別活動等

部活動や生徒会活動の意義を確認し、自己成長のための糧となるよう様々な機会に生徒に伝える。

6 学校図書館

総合学科の特性を踏まえ、教科学習に必要な資料の充実を図ると共に、「読書の時間」を設け、読書指導の充実を図る。

7 保健・安全指導

SCを介した教育相談をより充実させ、個々の生徒の状況に応じた対応ができるように取り組む。また、危機管理に関わって、自分の命は自分で守るという意識を高める。

8 人権教育

生徒・教員共に自分のことを大切に思われている被尊感情が自尊感情に繋がり、相手のことを大切に思う人権意識が高まることを、LHRや職員研修などを通じて確認する。

9 環境教育

社会の一員として、日々の生活の中で自分に何ができるのかを考えさせると共に、ボランティア活動に積極的に参加するよう呼びかける。

10 事務・管理

校内外の防犯・防災対策などの危機管理に努める。

11 その他学校の取り組み

本校関係者への配慮の観点から、学校ホームページやマチコミを通じて積極的な情報発信に努める。